



発寒ひかり
保育園だより

2024年
7月号

巻頭言

子どもたちと散歩をしていると、道端や公園にゴミが落ちて
いるのを多く見かけます。保育士はゴミ袋とトングを持ち歩
き、ゴミを見つけた時には拾っています。そんな中、めろんファミ
リーの子どもたちから「ゴミひろいしたいからトングかして」と
いう声が多くあり『ゴミ拾いマスターになろう』という目標を掲
げ、ゴミ拾いトングを作ることになりました。割り箸・洗濯ばさみ・
ガムテープを使い完成した一人ひとつのMYトングを持って公園
に行くと、張り切って小さなゴミまでたくさん見つける子ども
たち。「公園が綺麗になったね!」と喜び合い、気持ちよく遊ぶ
ことができました。ゴミ拾い中「これなにゴミ?」と質問する子
が多く、後日『ごみの分別クイズ』をしながら、ゴミの分別につ
いの話をしました。

ある日、Kくん(5歳児、きりん組)のノートに「町内会のごみ
拾いに参加し、火ばさみ持参だったので『自分で作る』と材
料を用意し(略)得意気に完成品を見せてくれ(略)『タバコは
毒があるから手は使わないで火ばさみで拾うの』と教えてくれ
ました」とありました。園でも、年下の子がトング作りをしてい
ると「ここにーぶはるんだよ。くうきはいらないうにぎゅっ
てしてね」と優しく声を掛けてくれ、ゴミ拾い中も「これは、も
えるごみだよ」と率先して教えてくれていたKくん。周りのお
友だちからも頼られ、ファミリーの中心となって活動している姿
が印象的でしたが、家庭でも実践してくれたことがわかりとて
も嬉しく思いました。

これからも、子どもたちと『ゴミ拾いマスター』を目指しなが
ら、リサイクルや環境問題について一緒に考えていきたいと思っ
ています。

ことり組・めろんファミリー担任 大森千晴